

## ごあいさつ

NPO法人邦楽指導者ネットワーク21理事 山岡 知博



山岡 知博

1948年 国学院大学文学部国文学科卒業  
1950年 NHK入局  
1952年から1982年まで古岡芸術番組の制作・演出を担当  
1982年NHK定年退職後  
社団法人日本舞踊協会事務局長  
文化庁芸術祭審査員  
文化庁芸術選考委員  
NHK邦楽オーディション審査員  
日本琵琶協会会長  
社団法人日本小唄連盟理事  
NPO法人邦楽指導者ネットワーク21理事に選任される。

NPO法人邦楽指導者ネットワーク21の総会・藤原道山氏を招いての合奏講習会が、今年も長野県蓼科にて無事有意義に終わることが出来、講師の先生を始め会員の皆様、大変お疲れ様でございました。これからの一文は私が日ごろ感じていることで、独断と偏見のそしりを免れないかも知れませんが、敢えて述べさせていただきます。NHKが戦前から実施している「邦楽オーディション」、熊本市が15年前から始めた「全国邦楽コンクール」この二つに審査員として立ち会っていて感じたことですが、まず、出場者の演奏技術が素晴らしく向上して、お互いに優秀をつけ難いほど接近していることです。とくに戦後間もないころからのオーディションを考えると隔世の感なしとします。それは古典よりも現代曲にそのことが顕著です。そのような傾向の中で選曲は古典より現代曲、しかもほとんどが器楽に傾いていることです。逆に邦楽の古典は大部分が歌物で明治以後の学校教育で洋楽の発声や仕込まれた人々にとって邦楽の古典は苦手かも知れません。しかし日本語をもっと美しく正しく発音し歌うのは邦楽であると確信している私にとって、現状は決して喜ばしいとは思われません。古来、邦楽がもっとも大切にしているのは歌です。近代邦楽の祖、宮城道雄が作品の中に好んで用いたと思われる〈歌謡調〉という楽章は日本の美しい国土を賛美し、自然の恵みに感謝する邦楽の心を作品の中に具現したものに他ならないと思います。今年の熊本の「全国邦楽コンクール」では60組を超える応募者の中から、三味線部門での「吾妻獅子」第2位優秀賞入選は嬉しいことでした。

## 第5回[平成20年6/7~8]を蓼科にて無事終えたNPO合奏講習会 今年も100人の参加者の音が会場いっぱいに鳴り響いた!!



田村拓男指揮指導による  
デイベルテイメント



浜谷の響コンサート

長沢勝俊作曲「晴春」を藤原道山氏  
とみごとに演奏する古川郁代会員



乙女の滝コンサート

鉾江市の歌を清楚に歌う東京  
都立鉾江高校琴曲部の乙女達

## 第6回合奏講習会は福岡県志賀島です!!

志賀島は絶海の孤島?のような玄界灘に浮かぶ島です。志賀島の金印(漢の武帝が倭の奴の国王に送ったとされる国宝)は知る人ぞ知るところではありますが、なんと日本音楽の発祥の地でもあるという!! 福岡県志賀島。

そしてゲストは、今やNPO合宿の顔ともなった「尺八演奏家 藤原道山」氏を迎えます。

平成21年6月13日(土)~14日(日)

講習曲は田村拓男指揮指導による

長沢勝俊作曲「四つの小品」

先行電話予約は5%割引!!!

電話受付は平成20年11月末日が  
締め切りです。

参加費(1泊2日)

一般 35,000円

小学生 17,000円

会員・学生 33,000円

見学 22,000円



# 文化庁「伝統文化こども教室」新年度スタート!!

NPO法人邦楽指導者ネットワーク21の全国各支部が主催する平成20年度「伝統文化こども教室」は、昨年よりさらに2箇所増え、18団体が採択されました。今年も全国各地で子どもたちのにぎやかな声と演奏が聞こえてくるようです。今期も財団法人伝統文化活性化国民協会の趣旨ののっかって、日本の伝統文化の素晴らしさと楽しさを、一人でも多くの子供達に体験してもらい、しっかりと邦楽の裾野を広げるため頑張らしましょう!! 実施支部の教室名と指導者を紹介します。

◆ 鶴井お亭 こども教室		◆ 伝統文化壺川 こども教室		◆ 伝統文化鶴江 こども教室		◆ 伝統文化 こども教室		◆ 伝統文化横浜 こども教室		◆ 「邦楽教室」	
◆ 理音会伝統文化 こども教室		◆ 伝統文化富士宮 こども教室		◆ 伝統文化加古川 こども教室		◆ 伝統文化 こども教室		◆ 伝統文化品川 こども教室		◆ 伝統文化神辺 こども等・三銃教室	
◆ 彩音会伝統文化 こども教室		◆ 伝統文化糸糸会 北松尾こども教室		◆ 伝統文化 邦楽こども教室		◆ 伝統文化相模原 こども教室		◆ 伝統文化八王子 箏曲こども教室		◆ 伝統文化千種地 区等こども教室	

## 文化庁平成20年度 学校への芸術家等 派遣事業

この事業は、児童・生徒が文化芸術活動の楽しさやすばらしさを知る機会を充実するとともに、学校における文化芸術活動の活性化を図るため、優れた活動を行っている芸術家や伝統芸能の保持者等を学校への文化大使として派遣し、講話や技術指導などを行うことにより、豊かな心と感性を育むことを目的として行われています。



邦楽の魅力について



楽器の質問に回答



箏の楽譜がとても珍しく興味深々

派遣者 北九州支部 東島啓子  
実施日 平成20年7月3日木曜日  
ところ 福岡県朝倉郡筑前町中牟田  
筑前町立中牟田小学校  
開演・ 13時50分～  
終演時間 15時10分  
観客生徒数 200名+教師



邦楽クイズ7問、全問正解を目指して真剣

### T学校側の感想

アットホームな雰囲気を作ってくださり、子供たちにとって有意義な時間となりました。こどもたちからの感想も大変楽しかった様子で、とても有難く思っております。

### 東島啓子会員の感想

片道1時間半かかりましたが、とても感じの良い素敵な学校でした。子供達や先生方も大変熱心で、沢山の質問ができました。皆さん喜んで頂き、満足して帰ってきました。

## 熊本築城400年祭「医聖宗巴は立ち上がる」

熊本県菊池支部 渡 雪美



平成20年5月22日、県内の75歳以上の高齢者らでつくる「新老人の会」熊本支部の方々が西南戦争に関わった医師堀野宗巴の演劇を企画されました。熊本築城400年祭の最終日にあたり、祭りの一環として催され超満員の中に閉幕して大好評でした。私は劇の効果音楽の担当依頼をいただき、箏、尺八、シンセサイザー、ボーカルの方々と共にアレンジから演奏まで全てを努めさせていただきました。脚本・舞台監督・演出までを担当されたのは85歳の徳永武久先生。「私は青春真っ只中」と言われ夢と希望に向かって活動していらっしゃる「新老人の会」の昔様の姿に多くのことを学ばせていただきました。そして劇を通して命の尊さ、人類愛・戦争のない平和への願いなど心に深く刻まさせていただきました。



# 出版業界からみた箏曲教室の歴史と発展

大日本家庭音楽会社長 坂本正彦



近年箏曲界の衰退がいよいよ深刻さを増したと言われますが、過去にも数回危機と呼ばれた時期がありました。江戸時代の最初の危機は生田検校が当時流行の三味線音楽を地歌として取り入れる事により隆盛を極め、今日まで生田流としてその名前が残っています。明治に入ると身分制度としての当道の特権も廃止され、文明開化の荒波の中で生きて行く為に検校達も寄席に上がったとの話が残っています。

この危機を乗り越える為に考えられたのが、欧米の上流家庭で盛んに行われていたホーム・ミュージック即ち、家族で行う音楽会でした。日本では父が尺八を、母と娘が三味線と琴を演奏する。これが新しい日本の上流家庭の嗜みとされました。明治43年設立された弊社の社名の家庭音楽界もここから由来したものです。更に、大正時代には一般の女性が琴教師になる事が出来るようになりました。盲人の優れた記憶力を持たない、普通の女性には琴の楽譜という便利なもの普及しつつありました。我々の古い楽譜の初版が続いて大正2年となっているのがその現れです。当時まだ少なかった女性琴教師の門には、新式楽譜琴教授という看板が掛けられました。

昭和には宮城道雄や筑紫歌都子等の箏の人才が現れ、多くの若者を魅了しましたが戦争・敗戦と混乱が続き、焦土にジャズが流れ、邦楽は壊滅的な打撃を受けたと言われました。それでも昭和30年頃には空地の奥から少しずつ箏の音色が流れて来る様になり、30年の東京オリンピックを境に日本は高度成長時代に入り、華道・茶道・箏曲を代表するお稽古ブームが日本中を席捲しました。最初は戦争

中で何も習い事が出来なかった母親達が、娘達には色々習い事をさせてあげたいという思いから始まり、大量に若い女性労働者の確保を求めていた会社・工場等が働きながら花嫁修業を誦い文句に各職場には箏曲クラブなるものが出来ました。先生一人ではとても依頼殺到の職場のクラブを廻りきれず、この頃即製の箏曲教師が各流派を中心に大量に出現しました。戦前までは習い事は毎日先生の元に通うのが一般的でしたが、この頃では週に一日の稽古が普通となりました。従って先生は多くの弟子を指導する事が可能となり、この頃の琴の先生は平均50人の弟子を持ち、演奏会では指導を行っている学校・サークル等の生徒を合わせると出演者総数100名以上と言うのが一般的でした。短大に行くと会社に勤めるより、内弟子になって琴の先生になった方が収入が良いと言われた時代でもありました。

昭和50年代になると低成長時代となり、若い女性にとって結婚より就職の方が最大の日課となりました、習い事に代わって車の免許・英会話・ワープロ等の資格習得に関心が高まり、箏を習う若い女性が急速に減って行きました。しかし50年代は現代邦楽という洋楽器系の作曲家が邦楽器による名曲を次々に発表され、大学生や高校生達に大きな影響を与え、現

代邦楽がテレビ等にも放映される程にブームとなりました。その結果各地方にもこの現代邦楽を演奏する為のアマチュア合奏団が出来、学生邦楽が盛んになりました。他方、従来の琴の先生の所には、新しい入門者が入ってこないと言う声が聞かれました。ただこの学生邦楽の隆盛は、邦楽界に優秀な人材をもたらしました。現代邦楽に触発されて箏や尺八を始めた若者が作曲した作品を、若者を中心に自ら広めだしました。栗林秀明・吉崎克彦・水野利彦等がそれで、彼等の音楽を邦楽ニューウェーブと名付け各地で講習会・コンサート等を主催して行く中、平成の時代には彼等とそれに続く作曲家の作品が箏曲界の中心となっていきました。

しかし平成15年ごろからこの邦楽ニューウェーブの熱気も次第に離れていくのが感じられます。昭和40年代の琴ブームで大量に生み出された先生方の高齢化がその主たる原因と思われれます。社会全体に少子高齢化が進み、日本全体が活力の無い社会に成りつつあります。現代邦楽からニューウェーブの音楽は若者のエネルギーを必要とするリズム主体の合奏曲となっていて、活力ある時代の若者文化の一面を担っていた事に過ぎません。

そういう中で、最近琴でポップスを弾くという従来考えられない

事が盛んになってきました。これは当初、琴の学校教育導入に際し子供達に興味を持たせるための試みでした。ところが琴でメロディーを弾くと、同じメロディーを他の楽器で聞き慣れている子供達には狭いメロディー表現には聞こえないという例が山ほど出てきました。単音の美しさでは琴はピアノやギター等より遙かに勝る楽器のはずなのに、合奏練習の中で大事な個性も爪音も捨ててしまったのでしょうか。琴の魅力は何処に有るのか、琴にしか表現できない世界をもう一度求めなければ琴復活への道は無いでしょう。時はリズムからメロディーの時代へと変化しています。音楽に優しさや癒しを求めているに違いありません。琴のポップスはその入口に過ぎません。その先に琴にしか表現出来ない、琴だからこそ表現できる曲が近い将来必ず出現し、琴復活の道が拓かれるものと信じて出版活動をして行く所存です。

大日本家庭音楽会社長
坂本正彦
プロフィール
一九四一 大日本家庭音楽会創立者兼社長、箏曲家筑紫歌都子と結婚、その後の高松の三代目として福岡市に生まれる。
一九六〇 青山学院大学英文科入学。
一九七〇 著書『箏曲教師の心得』出版。
一九七九 八木敏一師に琴、三味線を師事。
一九八三 栗林秀明、吉崎克彦等若手作曲家を招聘、新進作曲家を奨励し、エム音楽企画を設立。新人の発掘の製作販売を開始。
一九九三 大日本家庭音楽会代表取締役社長就任。
一九九四 東京音楽所を中野に開設。箏曲普及の為に新進作曲家と共に『箏の会』設立。東京、大阪、北海道、四国の支部を開校。
一九九八 大阪梅田に箏曲音楽成績館を開校。
二〇〇四 梅田より開始以来の『箏コンクール』審査員としての功績に対し、各賞町賞状1号として表彰を受ける。
二〇〇六 東京梅田に音楽所並びにスタジオ開設。
現在 大日本家庭音楽会代表取締役社長、監事、筑紫歌都子、代筆、種々の文化代表。

## 平成19年度総会終わる 平成20年6月6日 会場 豊科パークホテル

活動報告では、全国の子ども教室の展望と課題が活発に話された他、新規に始まった文化庁芸術家派遣事業の実績が報告されました。事業計画では、ナイチンゲール活動や、文化庁芸術家派遣事業の演奏会等の方向性が熱く語られました。



自H19.4.1~至H20.3.31	
科目	決算額
【経常収入の部】	
会費収入	1,074,000
事業収入	3,288,000
寄付収入	89,517
雑費収入	9,109
経常収入合計	4,460,626
【経常支出の部】	
事業費	3,262,948
管理費	1,199,107
当期収支差額	-1429
経常支出合計	4,462,055

# 長澤勝俊 先生逝去



故 長澤勝俊

NPO法人邦楽指導者ネットワーク21の発起人であり理事の長澤勝俊先生が、心不全のため1月10日22時30分逝去致しました。享年84歳でした。江古田斎場で行われました通夜(1/14)・告別式(1/15)にあたりましては、多くの皆様方にご会葬を賜り、厚く御礼申し上げます。

## 弔 辞

太平洋戦争のあった中、20歳で学徒出陣、スマトラの戦場へと送り込まれた長澤さんは、敗戦までどうにか生きのび、2年間の抑留生活の後に帰国。抑留中に覚えたアコーディオンが身を助けることになり、帰国後は、幸運にも人形劇団(ブーク)に入団し、さっそくアコーディオンを肩に、人形劇の全国巡回公演に参加されることになりました。

(ブーク)では「絵描きのブー吉」、「ファースト博士」、「セロ弾きのゴーシュ」など数多くの作品の音楽も作曲されました。若い頃から作曲家になることを夢みていた長澤さんは、大変に喜びと同時に、本格的な作曲の勉強もしたいと、清瀬保二氏について4年間勉強されました。

その頃、戦場のコーラスの指導もされるようになり、東洋経済、東京海上火災、日本銀行など大きな合唱団とお付き合いが始まる中、日本銀行では直子夫人と結ばれるという幸せがございました。

東京オリンピックが行われた1964年には、作曲家長澤さんや三木稔さんらの呼びかけで、流派を超えて集まった若手邦楽演奏家ら14人とともに「現代に生きる新しい日本音楽の創造」について語り合いました。徹夜・半徹夜をしながら議論を重ね、遂には「日

本音楽集団」というとてつもなく大きな名前のグループが誕生したのでございます。(中略)

優しく、温かく、美しく、輝きとした長澤さんの作品は、まさに長澤さんそのものであり、俗に「長澤節」といわれる美しいメロディーは、全国の多くの愛好者や、小学生たちにも親しまれ演奏されています。

長澤さんは日本音楽集団のために作曲するほか、NHKやレコード会社からの委嘱、宮城合奏団はじめ、多くの合奏団や個人・グループなどからの委嘱を受け、100を超える合奏曲、独奏曲など、たくさんの財産を残してくださいました。長澤さん亡き後も、これらの作品群はますます輝きを増し、未来永劫生き続けることでしょう。また この数年間は、おみ足の痛みが取れず、杖や奥様の介添えなくては外出も儘ならず、定期演奏会からも遠退かれていたことは残念でしたが、遂に来るべき日がきてしまいました。

今月10日、午後10:30、奥様の直子様、お嬢様の矢島由美様、ご主人の矢島正三(まさみ)様、お孫さんの正人(まさと)さんに看取られながら、大往生を遂げられました。心からのご冥福をお祈りいたします。先生、有難うございました。

代表 田村 拓男

(日本音楽集団ホームページより抜粋)

## 賛助会員のご紹介 (NPOへのご支援誠にありがとうございます！)

山形県	彩音会 代表 菅原綾子 東田川郡 TEL:0235-66-2188	山梨県	むらさきの会 代表 松場幸子 甲府市 TEL:055-236-5805	東京都	桑都の会 代表 小林千恵子 八王子市 TEL:042-679-4920	愛知県	彩楓會 代表 佐藤友相 名古屋市 TEL:052-705-1124	福岡県	(有)瀧保丸 TEL:093-871-3441
	スミ井邦楽器店 代表 墨井富士男 鶴岡市 TEL:0235-22-7685	東京都	箏曲正音会 代表 渡辺正子 狛江市 TEL:03-3480-0845	東京都	日本文化体験の会 代表 戸塚順子 さいたま市 TEL:048-758-1695	大阪府	箏曲明由の会 代表 山本明由子 名古屋市 TEL:052-757-3455	福岡県	(有)福岡あこや 代表 橋本潤三 福岡市 TEL:092-751-3361
新潟県	理音会 代表 高橋理香 加茂市 TEL:0256-52-2555	埼玉県	夢の会 代表 田代せつ子 調布市 TEL:03-3300-5773	埼玉県	(学)小牧幼稚園 園長 小林牧江 越谷市 TEL:048-985-4890	大阪府	箏糸会 代表 今村慶子 和泉市 TEL:0725-54-2871	熊本県	熊本お琴教室 代表 古川郁代 熊本市 TEL:0963-64-9304
	中嶋和楽器店 代表 中嶋由直 上越市 TEL:025-525-7519	東京都	鳳竹会 代表 門傳良男 調布市 TEL:042-486-4472	神奈川県	(株)サトウ楽器 代表 佐藤松夫 春日部市 TEL:048-754-6897	兵庫県	箏曲柳の会 代表 鈴木晴都 加古川市 TEL:0794-38-0216	熊本県	アンサンブル渡里夢 代表 渡 雪美 菊池市 TEL:0968-38-2116
福島県	桐音会 代表 後藤礼子 須賀川市 TEL:0248-75-4663	東京都	桐の会 代表 仲林光子 中央区 TEL:03-3688-8164	神奈川県	箏美音会 代表 大江美恵 横浜市 TEL:045-773-6521	広島県	アコヤ楽器 代表 安藤克彦 加古川市 TEL:079-422-2478	熊本県	(有)西紀美子 熊本市
	奏絃会 代表 後藤美穂子 郡山市 TEL:090-6255-4061	神奈川県	箏曲恭音会 代表 坂本恭子 品川区 TEL:03-3764-0673	神奈川県	糸紋の会 代表 田口典子 相模原市 TEL:0427-56-1765	山口県	いちえの会 代表 神田寛江 神石郡 TEL:08478-5-4711	<p>ご入会 お問い合わせ TEL&amp;FAX 03-5771-8129</p> <p>(賛助会員を募集しています。個人でも企業でも大歓迎です。)</p>	
山梨県	山形屋琴三絃店 代表 日原 仁 甲府市 TEL:055-252-2110	神奈川県	明鏡和楽器 代表 渡辺 謙 墨田区 TEL:03-3623-6349	神奈川県	宮城野楽器店 代表 白澤 功 川崎市 TEL:044-922-3439	福岡県	箏友会 代表 松崎妙子 下関市 TEL:0832-41-1315		
	花手まりの会 代表 小山令子 北杜市 TEL:0551-35-4322	静岡県	片切琴三味線店 代表 片切利幸 昭島市 TEL:042-541-0807	静岡県	箏曲妙の会 代表 佐野妙子 富士宮市 TEL:0544-58-0571	福岡県	知啓会 代表 東鳥啓子 北九州市 TEL:093-641-5587		